

# 高次脳機能障害を持って生きる —働きながら暮らすということ—

今回の勉強会では、高次脳機能障害を持ちながら、会社で働き続けている当事者とご家族にお話いただきます。

「何かおかしい。」「できそうなのに、上手くいかない。」「普通に見えるのに、いつも問題を起こす。」  
高次脳機能障害はそんな風に見える障害のため、就労の継続が困難となります。  
この勉強会を通して、働き続けるために大切なことや、障害とともにどう生きるかを考えたいと思います。

日時：平成28年10月23日（日）13:30～15:30

場所：本郷生涯学習センター 多目的ホール（三原市本郷町南6-25-1）

講師：大岩 登さん（当事者） 大岩 寛子さん（母）

聞き手：本多 留美（NPO法人高次脳機能障害サポートネットひろしま 言語聴覚士）

対象：当事者とそのご家族及び関心のある方

高次脳機能障害者の支援に携わっておられる支援者

（医師、PT・OT・ST、ソーシャルワーカー、ケアマネジャー、相談支援専門員、障害福祉サービスや介護保険サービスのスタッフ等）

## 【プログラム】

- ① ミニレクチャー「高次脳機能障害とは」  
本多留美
- ② 対談「働きながら暮らすということ」  
講師：大岩 登さん 大岩 寛子さん  
聞き手：本多 留美

### 【大岩さんのプロフィール】

大岩登さんは、18年前のくも膜下出血が原因で高次脳機能障害を持っています。

当初は身体の障害だけだと思い、就職しましたが長続きせず、就職・退職を繰り返し、一時は引きこもっていました。

しかし、その後、障害者職業センターの研修で自分の障害について学び、支援を得て、酒造メーカーに契約社員として入社しました。現在は正社員として勤め続けておられます。



後援（予定）：三原市

三原市社会福祉協議会

※ お申し込みは、FAX またはメールでお願いいたします。

